



佐渡を世界遺産に

どうゆう わりと
道遊の割戸

佐渡金銀山遺跡

世界遺産登録に向けて！

世界各地の大切な遺跡や自然を守っていくため、1972年のユネスコ総会で「世界遺産条約」が結ばれました。この条約にもとづいて登録された遺跡や自然が、世界遺産です。

2010年に佐渡金銀山遺跡は世界遺産暫定リスト入りし、正式に日本の世界遺産候補となりました。

新潟県と佐渡市は、佐渡金銀山遺跡を日本の貴重な「宝」として世界遺産に登録するために、さまざまな活動に取り組んでいます。

※「暫定リスト」とは、各国がユネスコに提出する世界遺産候補リストです。このリストに入っている候補の中から世界遺産が選ばれます。

新潟県・佐渡市





佐渡金銀山遺跡ってなに？

あいかわ 相川金銀山



■宗太夫間歩
※「間歩」とは、鉱石を取るために掘られたトンネルのことです。



■復元された佐渡奉行所



■北沢浮遊選鉱場

相川金銀山は、江戸時代に入って本格的に開発されました。その後、1989(平成元)年に採掘を停止するまで、約400年ものあいだ日本の金銀山の中心でした。生産された金や銀は、貨幣となって人々の生活に役立てられたり、政治を行うための資金などに利用されたりしました。また、鉱石から金銀を生産するためのさまざまな技術が生み出され、他の鉱山をリードしました。

にしみかわ 西三川砂金山



■砂金



■西三川砂金山採掘場跡

西三川砂金山は、平安時代から砂金採取が行われていたと考えられる佐渡で最も古い金山です。砂金採取の方法は、まず山を掘り崩して砂金を含む土を水路に入れ、次に堤にためていた水を一気に水路に流し、不要な土砂を取り除くというものでした。

佐渡には4つの大きな金銀山があるんだよ。



あいかわ 相川金銀山

つるし 鶴子銀山

にいほ 新穂銀山

にしみかわ 西三川砂金山

佐渡市役所

いづつ 両津港

あか泊 赤泊港

こぎ 小木港

つるし 鶴子銀山



■鶴子銀山間歩跡



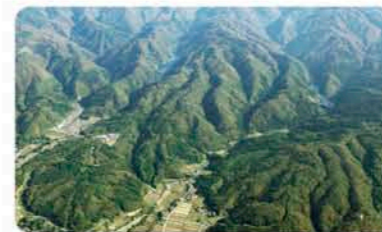
■鶴子銀山露頭掘り跡

鶴子銀山は、戦国時代に発見されたと伝えられます。この銀山には、水平に坑道を掘り進んでいく技術や、鉛を使って鉱石から銀を取り出す技術(灰吹法)などが石見銀山(島根県)からもたらされました。

佐渡金銀山の金の総生産量は78トンで、1997(平成9)年に鹿児島県の菱刈金山が上回るまで日本一だったのよ。銀の総生産量は2,330トンで今でも日本一なんですって。



にいほ 新穂銀山



■新穂銀山遠景



■清水寺

長い歴史をもっている佐渡金銀山遺跡には、鉱山だけではなく、奉行所やお寺、港なども含まれているんだ。

新穂銀山は、鶴子銀山が発見された頃に開発がはじまったとされます。銀山近くにある清水寺には「観音さまが手を合わせている方向に銀がたくさん出る場所があった」という伝説があります。

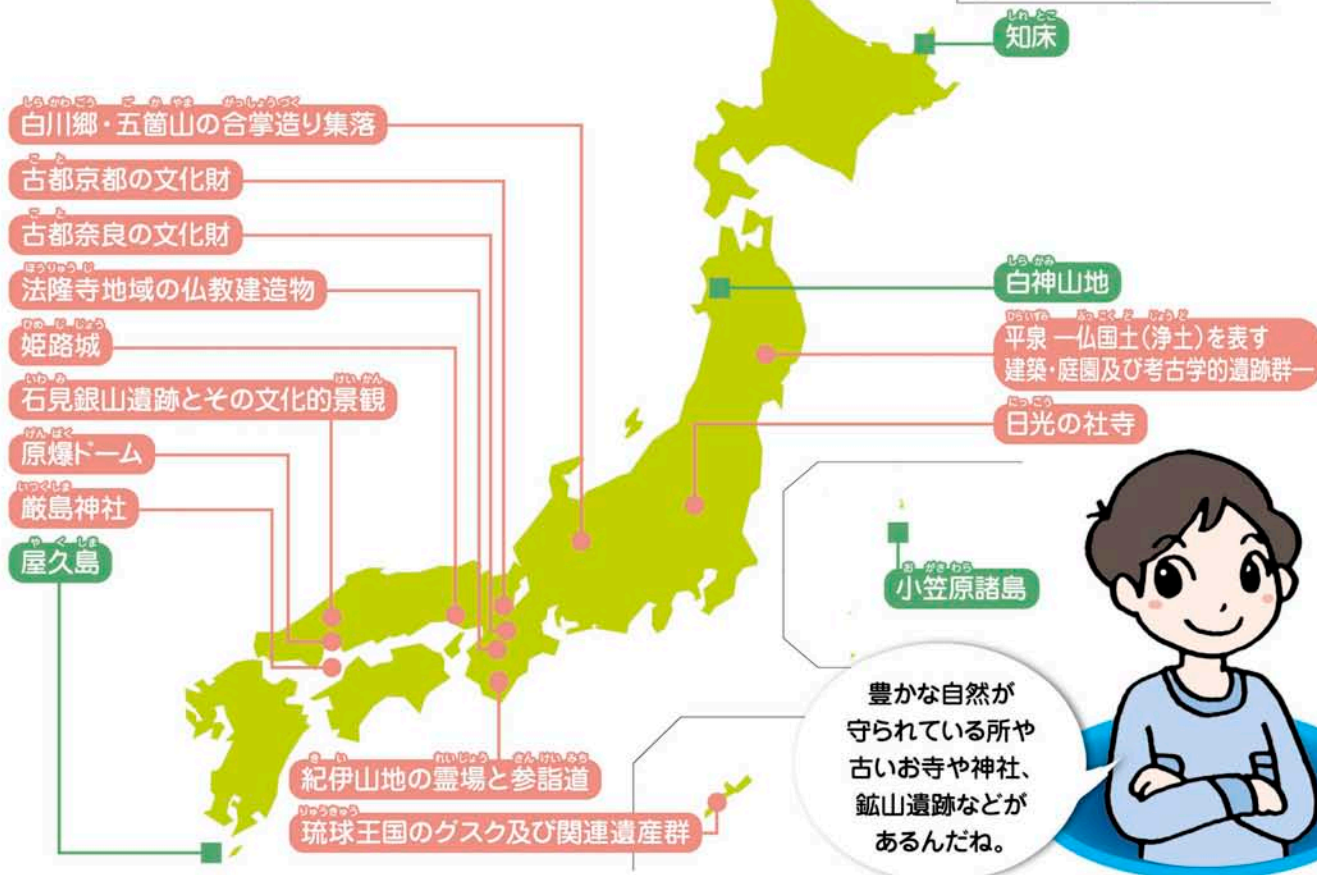
平安時代に書かれた「今昔物語集」や室町時代に世阿弥が書いた「金島書」にも佐渡の金が出てきているのよ。



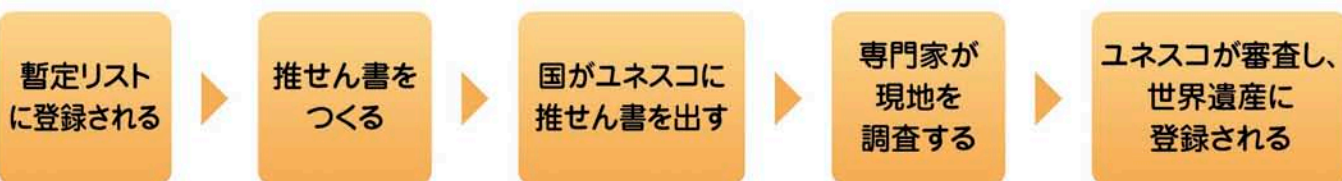
日本にある世界遺産

(2012年3月現在)

● 文化遺産 ● 自然遺産



世界遺産登録までの道すじ



佐渡金銀山 ここがスゴイ!

- 600年間にわたる長い金銀採掘の歴史をもち、それぞれの時代の鉱山技術を示す場所や建物がたいへんよく残っています。
- 佐渡金銀山で生産された金銀は、国内の経済を支えるとともに、世界の貿易に大きな役割を果たしました。
- 金銀山が繁栄したことで、佐渡に多くの文化や芸能が生まれました。また、鉱山の様子を描いた絵巻も数多くつくられました。

みなさんへ

かつて日本一の金産出量をほこり、国内の金銀山をリードした佐渡金銀山は、新潟県だけでなく日本の大切な「宝物」です。みなさんの力で、佐渡金銀山遺跡を未来へと受けついでいきましょう。



新潟県教育庁 文化行政課 世界遺産登録推進室

〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1 TEL:025-280-5726 FAX:025-284-9396
<http://www.pref.niigata.lg.jp/bunkagyosei/>



佐渡市 世界遺産推進課

〒952-1209 佐渡市千種246-1 TEL:0259-63-5136 FAX:0259-63-6130
<http://www.city.sado.niigata.jp/mine/>